

津山中央病院によるドクターカーの運用が開始されました



津山中央病院ドクターカー

津山圏域消防組合では平成16年から津山中央病院と協力し、救命率向上のためドクターカー運用を行っていましたが、令和4年4月1日から津山中央病院によるドクターカーの運用が開始されたことにより、津山圏域消防組合の車両で行っていたドクターカーは令和4年3月31日をもって終了しました。

今後は津山中央病院が運行主体となり、ラピッドカー方式で運行されます。

津山圏域消防組合は津山中央病院ドクターカーとの連携を強化し、住民のみな様の命を守ります。

ドクターカーの変更点など

- ドクターカーの車体は SUV タイプになりますので患者搬送はできません。(ラピッドカー方式のドクターカーは患者搬送を行わず、医師、スタッフの送り込みに特化した運用です。)管轄救急隊の救急車とドッキングし、救急車に医師、スタッフが乗り込みます。
- 運行日数は昨年度までの年間180日程度から年間250日程度に拡大します。
- 運行範囲は真庭、美作地区を含むより広い範囲での運行となります。
- 美作地区消防指令センターからの出場要請により出場します。
- 現場に向かうドクターカーは、赤色灯を点灯し、サイレン(ピーポー音)を鳴らして緊急走行を行います。
- 事業所(コンビニエンスストア等)の駐車場等で救急車とドッキングすることがあります。ご理解をお願いいたします。

ドクターカーと救急車の連携(一例)

美作地区消防指令センター

出場指令



出場

重篤負傷者発生

Call 119



出場指令

負傷者を収容しドクターカーとのドッキングを目指す



医師が同乗した救急車で病院へ搬送

ドッキングポイントで合流し、医師は救急車に乗り込み治療開始

出場

